

そ かんえつ けん たも もの はこ おさ あ かるがる
夫れ干越の劔を有つ者は、柙にしてこれを蔵め、敢えて軽々しくは
もち たから いた せいしん したつべいりゅう さわ ところ
用いず。宝とするの至りなり。精神は四達並流して極めざる所
なく、上は天に際り、下は地に蟠る。万物を化育して象を為す
そ な どうてい な じゅんそ みち た しん こ まも
べからず。其の名を同帝と為す。純素の道は、唯だ神を是れ守る。
まも うしな しん いっ いっ せい つう てんりん
守りて失うことなければ、神と一たり。一の精は通じて、天倫に
あ やご いわ しゅうじん り おも れんし な おも
合う。野語にこれあり、曰く、衆人は利を重んじ、廉士は名を重
けんし こころざし たつと せいじん せい たつと ゆえ そ
んじ、賢士は 志 を尚び、聖人は精を貴ぶと。故に素とは、其の
とも まじ ところ い じゅん そ しん か い
与に雜うる所なきを謂うなり。純とは、其の神を虧かざるを謂
よ じゅんそ てい しんじん い
うなり。能く純素を体する、これを真人と謂う。

【大体の意味内容】

ご えつ めいけん もの はこ こ かるがる しょう
呉や越の名劔を持つてゐる者は、それを箱にしまい込んで、軽々しく使用したりはしない、
つまり至上の宝とするのである。精神、すなわち靈驗あらたかな神の精氣は四方八方に広
しじょう たから せいしん かい せいき しほうはつぽう ひろ
がり行き渡り、極め尽くさないところはない。上は天空のかなたまで、下は大地を覆い尽
ゆ わた きわ つ かみ おおぞら しも だいち おお つ
くす。万物を変化させ生育させながら、その働きをハッキリとした現象としては示さな
ばんぶつ へんか せいいく はたら げんしょう しめ
い。それを名付けて同帝、つまり造物者と同じ、というのである。精神が機能するために
なづ どうてい せいしん きのう
じゅんすいそぼく ほうほう じぶん こころ れいみよう はたら すなお したが まも
純粹素朴である方法は、自分の心にある靈妙な働きに素直に従い、守ることである。
まも とお うしな じぶん ほんらいないざい しんき じが どういつ
守り通して失うことがなければ、自分に本来内在している神氣と、自我とが統一される。
とういつ せいしん にくたい こ がいかい つう てんりん しぜん せつり がっち
統一された精神は肉体を超えた外界にも通じ、天倫、すなわち自然の摂理とも合致する。
せぞく せいしん りえき おも せいれん し めいよ おも けんじん せい
世俗のことわざにも言う、「大衆は利益を重んじ、清廉の士は名誉を重んじ、賢人は 志

を貴び、聖人は精を貴ぶ」と。それゆえに、素朴というのは、不純な動機による雑念がないことをいう。純粹というのは、自分の精神の靈妙な働きを損なわないことをいうのである。こうした純粹素朴さを身に付けた人物こそ、真人と呼ばれるのである。

「精神」という言葉が中学生の時から不思議でした。「生心（せいしん）」「性心（せいしん）」「心」ならわかりやすいのですが、「精神」だと、「神」の字が入っているから何か宗教的な意味合いになってしまっているのではないかと、教育上問題ないのかなあと、そんな風に思ったりしていました。

今回の文章を読んで、「精神」について少し見えてきた気がしました。とくに宗教的な意味合いではないようです。

最初に「宝剑」と「精神」が対比されていました。

あまりにも素晴らしい剣は、何かを切るといふ実用目的には使われず、宝として蔵されますが、「精神」は空気や水の様にあらゆるものに行きわたる働きかけ、万物を養っており、しかもそのような偉大な働きをしているとは全く目に見えず気づかれないような存在、ということです。

日本を含むアジア・アフリカ・オセアニア・アメリカ大陸の先住民たちは、山野河海・風や石や様々な動植物のすべてに「カミ」や「マナ」、精霊などが宿っているという見方感じ取り方をし、大事に対応してきました。これを「莊子」では「精神」と呼び、人間が「神と一」になれば、そこから生ずる「精」が天地全体を満たす、そのような働きだと言います。「精神」とはそんな雄大なものですね。

このような精神をわが身に受け止めるには、素朴純朴であることが大事。「朴」とは『老子』で学んだように、何の加工もしていない「朴」の状態で、まだ何の色にも染まらず味付けも飾り付けもされていない「素」であること、そして「神（カミ・マナ・精霊）」の働きを削ぐことなく従うのが「純」だということらしい。「純素」であることが「精神」が最もよく働く「真人」ということ。かえって難しいかもしれませんが、余計な力は抜いて、わが身を流動させる精神に従って生きることが、一番輝かしいのだと、そう教えてくれているようです。